

日本原子力研究開発機構の事業計画とこれらに必要な許認可の優先度について

令和 2 年 2 月 7 日

日本原子力研究開発機構

1. はじめに

- ◆ 日本原子力研究開発機構(以下、「機構」という。)は、我が国における原子力に関する唯一の総合的原子力研究開発機関として、国の定める原子力政策や科学技術政策への貢献が求められている。具体的には、国立研究開発法人として、監督官庁から示された中長期目標に基づき、中長期計画及び年度計画を定め、主に国からの予算措置を受け、各事業を展開している。
- ◆ これらの計画を達成するため、機構は安全を最優先とした上で、試験研究炉等の再開、廃止を決定した施設の廃止措置等に迅速に取り組まなければならない。
- ◆ 先に原子力規制委員会殿より、試験研究炉等の審査優先順位の提示を求められ、これまでに回答申し上げるとともに、個別施設の許認可事案については審査案件単位でスケジュール表にとりまとめ、業務調整と管理に反映している。
- ◆ さらに今般、試験研究炉等に限らず、機構全体での原子力施設の許認可申請等に係る優先順位の基本的考え方、各拠点の原子力施設毎に、許認可申請等の優先度、スケジュールおよびその理由を最新の情報をもとに作成することを改めて要請された。
- ◆ 以下、機構が有する全原子力施設に係る許認可申請等に係る当面の優先度と計画について、回答申し上げます。

2. 機構の原子力施設の許認可申請等に係る今後当面の優先度について

- ◆ 機構の原子力施設は大きく分けて、①廃止することを決定し速やかに廃止措置を進めるべき施設と②新規規制基準に適合し運転再開を目指す試験研究炉等とに分けることができる。

① 廃止することを決定した施設の廃止措置:

- ✓ リスク低減の観点を重視し、優先度を区分する。
- ✓ 機構の最大のリスクは東海再処理施設の高放射性廃液と認識しており、高放射性廃液の貯蔵施設の安全対策、並びにガラス固化に関連する取組みが最優先と考えている。
- ✓ また、既に廃止措置段階にある「もんじゅ」及び「ふげん」についても、使用済み燃料に伴うリスクを勘案し、最優先と考えている。
- ✓ このほか、既に進んでいる廃止措置(受審中のものを含む)は、それらを継続して進め速やかに廃止措置を完了させ、安全かつ安定な状態を確保するため、人形峠濃縮原型プラント及び東海地区の一部の使用施設の廃止措置も優先度が高いと考えている。

②新規制基準に適合し運転再開を目指す試験研究炉等：

- ✓ 安全確保を最優先に、社会への貢献を重視し、優先度を区分する。
 - ✓ 多くの利用者や学術会議等から再開が望まれているJRR-3、国際的にも期待が大きく海外からも資金を得て実施しているHTTRを最優先とする。また、JRR-3の運転に必要な廃棄物を取り扱う施設についても同様とする。
 - ✓ STACYについては、安全研究に係る受託事業を遂行するため、優先度が高いと考えている。
 - ✓ 「常陽」についても、国の高速炉開発の計画に沿って適切な時期に運転を再開する必要があり、優先度が高いと考えている。
- ◆ なお、これらの当面の計画に加え、今後 1～2年程度の想定としては、新検査制度への移行に伴う保安規定の変更、さらにはもんじゅの解体計画を踏まえた廃止措置計画の変更に係る許認可申請を予定している。
 - ◆ 機構には、多種多様な施設が数多く存在し、その規模や安全上考慮すべき特徴も様々であるため、審査案件の優先度や内容の軽重に応じた許認可申請、ヒアリング、チーム会合等、事業者として審査手続きに係る計画的な業務管理が重要であり、継続的な改善が必要と認識している。
 - ◆ 昨今の許認可審査の長期化に関しては、申請計画に関する情報共有の不足に対する対策として「許認可計画の見える化」を図るとともに、設工認の分割申請の整理統合など、手続きの合理化に取り組んでいるところである。引き続き、審査手続きにおける優先度、時期等を明らかにしつつ、事業者として改善に取り組む所存である。
 - ◆ 機構の事業についてご理解を賜り、円滑に審査が進められるよう、審査手続きの改善について相談させて頂きたい。

3. 具体的な計画について

- ◆ 別紙に、機構の各施設に関するスケジュール、上記の考え方を踏まえた許認可申請等の優先度、理由等を記載した。現在、別紙については、今年度の実績及び来年度の予算案を踏まえ計画の見直しに着手したところであり、最新情報については改めて提示させて頂くこととしたい。

以下別紙

機構の施設中長期計画(2019年4月1日改定)の別表2を一部改編し、許認可の優先度、その理由等を追記した。

以 上

別表2 原子力施設の中長期計画(1/12)

当面の許認可関係
 ◎:最優先で進める事項
 ○:優先的に進める事項

ハッチング:廃止施設(廃止措置中及び計画中のものを含む。)

■:運営費交付金、施設整備費補助金又は外部資金

斜体文字:第4期中長期目標期間中までの廃止措置完了予定施設。

(■■■■■:高経年化対策はH29年度以降、毎年度計画の再評価を実施)

施設	項目	事業展開										備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先										
		第3期					第4期																	
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025				2026	2027	2028							
定常臨界実験装置(STACY)	運転維持																	2018年1月31日設置変更許可取得。 運転再開時期は2021年2月(予定)。	H7年:初臨界 建設費:NUCEF全体で約317億円	○				
	研究開発																							
	高経年化対策																							
	新規制基準対応・耐震化対応																							
ホットラボ(核燃料物質保管部)	運転維持																	未照射核燃料物質の管理を含む。	S36年:試験開始 建設費:約24億円 H16年:核燃料物質使用変更許可					
	高経年化対策																							
	新規制基準対応・耐震化対応																							
ホットラボ(解体部)(廃止措置中)	廃止措置																	2025年度に管理区域解除。						
バックエンド研究施設(BECKY)	運転維持																	*1F廃炉に係る試験計画については、大熊分析・研究センターの運用及び1F廃炉作業の進捗状況に応じて、見直し等を行う。	H7年:試験開始 建設費:NUCEF全体で約317億円					
	研究開発																							
	高経年化対策																							
	新規制基準対応・耐震化対応																							
	高度環境分析研究棟	運転維持・研究開発																			H13年:使用開始 建設費:約19億円			
	高経年化対策																							
	放射線標準施設	運転維持(研究開発を含む。)																				S55年:使用開始 建設費:約15億円		
		高経年化対策																						
		新規制基準対応・耐震化対応																						
	RI製造棟	運転維持																				RIの製造、技術開発及び研究、研修実験に利用。	S36年:使用開始 建設費:約4億円	
		高経年化対策																						
		新規制基準対応・耐震化対応																						
	JRR-3	運転維持																				2018年11月7日設置変更許可取得。 運転再開時期は2021年3月(予定)。 2016~2022年度に燃料加工。	S37年:初臨界 H2年:改造炉臨界 建設費:約320億円	◎
研究開発																								
高経年化対策																								
新規制基準対応・耐震化対応																								
JRR-3実験利用棟(第2棟)	運転維持																	S63年:竣工						
	研究開発																							

STACY:原子力規制庁受託事業に基づき、燃料デブリ臨界評価に必要なデータを取得する受託契約を結んでいる。契約は令和3年度末までとなっており、必要なデータを取得するため令和3年9月までに運転を再開する必要がある。

JRR-3:学術利用や産業利用など幅広い分野で多くのユーザーに利用され、早期の運転再開が強く望まれている。

別表2 原子力施設の中長期計画(2/12)

施設	項目	事業展開											備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先				
		第3期					第4期												
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026				2027	2028		
燃料試験施設 (RFEF)	運転維持																		
	研究開発																		
	高経年化対策																		
	新規制基準対応・耐震化対応																		
	原子炉安全性研究所 (NSRR)	運転維持																	
原子炉安全性研究所 (NSRR)	研究開発																		
	高経年化対策																		
	新規制基準対応・耐震化対応																		
	廃棄物安全試験施設 (WASTEF)	運転維持																	
		研究開発																	
高経年化対策																			
新規制基準対応・耐震化対応																			
原科研 タンDEM加速器建家		運転維持																	
	高経年化対策																		
	研究開発																		
原科研 第4研究棟	運転維持																		
	研究開発																		
	高経年化対策																		
	新規制基準対応・耐震化対応																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	研究開発																		
	高経年化対策																		
新規制基準対応・耐震化対応																			

別表2 原子力施設の中長期計画(3/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先	
		第3期					第4期														
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028							
原 科 研	過渡臨界実験装置 (TRACY) (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	H7年：初臨界 建設費：NUCEF全体で約317億円	
		廃止措置	原子炉機能の停止措置 STACYとの系統分離措置 核燃料物質搬出(STACY)																TRACY本体の解体撤去は、 2030年度以降に実施予定。 (STACYの溶液系設備の解 体撤去と合わせて行う。)	H29年：廃止措置計画認可	
	JRR-2 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S35年：初臨界 建設費：約13億円	
		高経年化対策	[Gantt chart showing maintenance from 2018 to 2028]																	H9年：解体届 H18年：廃止措置計画認可	
	JRR-4 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S40年：初臨界 H10年：低濃縮化後初臨界 H22年：運転終了 建設費：約7億円	
		廃止措置	核燃料物質、RIの搬出等(米国、ホットラボ、搬出先検討中) 原子炉機能の停止措置 建家(実験準備室)解体 設備解体																2032~2035年度に管理区 域解除。 2036年度に建家解体。	H29年：廃止措置計画認可	
	再処理特別研究棟 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S43年：試験開始 建設費：約10億円	
		高経年化対策	[Gantt chart showing maintenance from 2018 to 2028]																	H8年：核燃料物質使用変更許可	
		廃止措置	設備・機器解体 貫通配管・ライニング解体 除染																		
	JRR-1残存施設 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																今後、管理区域解除又は廃 止措置する計画を検討予 定	S32年：初臨界 建設費：3.4億円	
		高経年化対策	[Gantt chart showing maintenance from 2018 to 2028]																		
	核燃料倉庫 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																2019年度以降に管理区域 解除に向けた計画。	S41年：設置 S63年：増築	
	トリウムプロセス研究棟 (TPL) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S63年：使用開始 建設費：約54億円	
		廃止措置	核燃料物質安定化、搬出等(搬出先検討中) 設備撤去、除染																		
	軽水臨界実験装置 (TCA) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S37年：初臨界 建設費：約2.6億円	
		廃止措置	準備 ▼廃止措置計画申請 原子炉機能の停止措置 核燃料物質搬出(ホットラボ、STACY) 維持管理 設備解体、管理区域解除																2028年度に管理区域解除。 2029年度に建家解体。		
	高速炉臨界実験装置 (FCA) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S42年：初臨界 建設費：約4億円	
		高経年化対策	[Gantt chart showing maintenance from 2018 to 2028]																		
		廃止措置	核燃集約施設検討 準備 核燃料物質搬出(搬出先検討中) 設備解体、除染 管理区域解除																2025年度に管理区域解除。		
	Pu研究1棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S35年：使用開始	
廃止措置		準備 ▼変更許可申請 核燃料物質搬出(ホットラボ、BECKY) 設備解体、除染 管理区域解除																2024年度に管理区域解除。		○	
核融合中性子源施設 (FNS)建家 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S56年：使用開始 建設費：約14億円		
	廃止措置	調査・準備 設備・機器解体 管理区域解除																2027年度に管理区域解除。			
バックエンド技術開発建家 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S46年：JPDRのタンブコンデンサ建 家として竣工		
	研究開発	廃棄体確認用データ取得、IF廃棄物分析																			
	廃止措置	調査、準備 内装設備等撤去、除染 管理区域解除																2025年度に管理区域解除。			
保障措置技術開発試験室 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S59年：竣工		
	廃止措置	準備 設備解体、除染 管理区域解除																2019年度に管理区域解除 後、コールド施設として利用。		○	
ウラン濃縮研究棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing continuous operation from 2016 to 2028]																	S48年：竣工		
廃止措置	▼変更許可申請 準備 設備解体、除染 管理区域解除																2019年度に管理区域解除、 コールド施設として利用。	H30年：核燃料物質使用変更許可			

Pu研究1棟：既に核燃料物質の搬出準備に着手しており速やかに進める必要がある。
保障措置技術開発試験室：既に解体準備に着手しており速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(4/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先
		第3期					第4期													
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028						
原子炉特研	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2018年度で核燃料物質使用施設としての管理区域を解除し、廃止措置完了したため、FJ施設の継続利用施設へ変更。	S37年：竣工 建設費：約1.9億円 H30年：核燃料物質使用変更許可へ変更。	
	耐震化対応	[Gantt chart showing seismic reinforcement from 2016 to 2028]																		
第2研究棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2018年度で核燃料物質使用施設としての管理区域を解除し、廃止措置完了したため、FJ施設の継続利用施設へ変更。	S32年：竣工	
	研究開発	原子力先端材料科学																		
大型非定常ループ実験棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2018年度で核燃料物質使用施設としての管理区域を解除し、廃止措置完了したため、FJ施設の継続利用施設へ変更。	S60年：試験開始 建設費：約45億円	
	研究開発	PWR事故時熱水力学的模擬試験																		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
リニアック建家	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2018年度で核燃料物質使用施設としての管理区域を解除し、廃止措置完了したため、FJ施設の継続利用施設へ変更。	H6年：試験開始	
	研究開発	大強度陽子加速器の開発																		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
FEL研究棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2018年度で核燃料物質使用施設としての管理区域を解除し、廃止措置完了したため、FJ施設の継続利用施設へ変更。	H5年：試験開始 建設費：約14億円	
	研究開発	70kV/100mA先端基礎科学、長寿命核種等を含む難測定核種の非破壊測定・分析技術の開発																		
環境シミュレーション実験棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																2019年度以降に管理区域解除に向けた計画を検討予定。	S58年：試験開始 建設費：約8億円	
放射性廃棄物処理場	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理 ▼焼却処理設備の運転再開 設備更新等 ▼金属溶解設備運転 設備更新等 ▼焼却・溶解設備運転 町協会への廃棄物の返還 充填固化設備整備 設計 整備																2018年10月17日設置変更許可取得。	S33年：処理開始 建設費：約343億円 H22年：核燃料物質使用変更許可(液体処理場) 【処理方法】 希釈、蒸発、固化、圧縮、焼却、分別、解体、溶解	◎
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028] Lピット(優先度A区分:17ピット、優先度B区分:11ピット)点検																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismic reinforcement from 2016 to 2028]																		
	廃止措置	設備解体撤去 管理区域解除作業																		
	汚染除去場(廃止措置予定)	設備解体撤去 管理区域解除作業																		
放射性廃棄物処理場	液体処理場(廃止措置中)	設備解体撤去 管理区域解除作業																2028年度に管理区域解除。		
	圧縮処理施設(廃止措置予定)	設備解体撤去 管理区域解除作業																2023年度に管理区域解除。	○	
	【参考】廃棄物分別	分別																2028年までに20,000本以上の分別を実施		
その他	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																CAS(中央警報ステーション)、気象観測室、体内RF分析室建家、試料処理室、MP-11~19、21~25、MS-1~4、屋外放射線管理施設(第1排水溝建家、第2排水溝建家)、中央変電所他電気供給施設、上水・工水供給施設及び熱源・蒸気供給施設。		
	高経年化対策	①CASの更新 詳細設計 更新 ②核物質防護(PP)監視システム ③核物質防護(PP)監視システム無停電電源装置の更新 ④中央変電所設備の更新																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismic reinforcement from 2016 to 2028]																		

放射性廃棄物処理場：放射性廃棄物処理場全体の適合確認が完了するまで、原則として原子炉運転に伴う廃棄物を取扱うことができない。このため、JRR-3の運転再開時期等までに適合性確認の完了が必要となる。

圧縮処理施設：既に解体準備に着手しており速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(5/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先	
		第3期					第4期														
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028							
東海再処理施設 (TRP) (廃止措置中)	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																	S52年：ホット試験開始 S56年：本格運転開始 建設費：約1,906億円 (分離精製工場、TVF等) H30年：廃止措置計画認可 【処理方法】 プラスチック固化、焼却、分別		
	【LWTF】 【固体廃棄物処理系設備】 焼却設備改造詳細設計等	焼却設備改造施工設計、機器製作、据付等 試運転																			
	【液体廃棄物処理系設備】 硝酸根分解設備・セメント固化設備設置詳細設計等	硝酸根分解設備・セメント固化設備設置施工設計、機器製作、据付等 試運転																			
	【高放射線固体廃棄物取出建家】 【取出装置】 装置設計・モックアップ設備整備等	装置製作、モックアップ試験、改良等																・LWTFの設備改造及び HWTF-1の建設は、再処理 施設の廃止措置計画に基づ き進める。			
	【取出建家】 建家建設検討・設計	建家許可・建設工事 建設建家上家撤去																			
	【HWTF-1】 【貯蔵施設】 施設建設検討・設計	施設設計認可・建設工事																			
	高経年化対策	-----																			
	廃止措置	潜在的リスクの低減(Pu溶液の固化・安定化処理) 潜在的リスクの低減(高放射線廃液の固化・安定化処理、ガラス固化体の保管能力増強)																・プルトニウム溶液の固化・ 安定化処理は2016年度に 終了。 ・高放射線廃液の固化・安 定化処理、LWTFの廃棄物 処理運転、高放射線固体廃 棄物の取り出し・貯蔵及び工 程洗浄等は、再処理施設の 廃止措置計画に基づき進め る。			◎
		LWTF固体廃棄物処理運転																			
	LWTF液体廃棄物処理運転																				
	高放射線固体廃棄物取り出し・貯蔵																				
	MPの廃止措置 工程洗浄・系統除染																				
	使用済燃料の保管(MP)																				
	使用済燃料搬出																				
	DNの廃止措置 工程洗浄・系統除染																				
	PCDFの廃止措置 スラッジ安定化処理・工程洗浄・系統除染																				
	プルトニウム・ウラン混合酸化物粉末の保管(PCDF)・搬出(Pu3)																				
	Krの廃止措置 クリプトン管理放出・系統除染																				
	ウラン貯蔵庫の廃止措置 ウラン製品の保管(TRP)																				
新規制基準対応・耐震化対応	▼廃止措置計画申請 設計・許可・工事																廃止措置計画で定めた対策を実施する。				
Pu燃料第三開発室 (Pu-3)	運転維持	核燃料物質受入(Pu-1、Pu2、TRP等)																核燃料物質の集約に向け、 貯蔵形態変更(保管体化)を 実施予定。	S63年：運転開始 建設費：約216億円		
	高経年化対策	-----																			
	新規制基準対応・耐震化対応	-----																			新規制基準対応、耐震化対 応については、施設の活用 方策等の検討結果を踏まえ て今後見直す予定。
第2Pu廃棄物貯蔵施設 (第2PWSF)	運転維持・廃棄物貯蔵	維持・廃棄物処理																H10年：運転開始 建設費：約53億円			
Pu廃棄物処理開発施設 (PWTF)	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																Pu系固体廃棄物の焼却減 容処理等の実証試験を含 む。	S62年：運転開始 建設費：約90億円		
	高経年化対策	-----																【処理方法】 焼却、細断減容、詰替			
	新規制基準対応・耐震化対応	-----																			
安全管理棟	運転維持・分析等	-----																S47年：運転開始 建設費：約6億円			
	高経年化対策	-----																			
放射線保健室	運転維持	-----																S45年：使用開始 建設費：約0.5億円			
	新規制基準対応・耐震化対応	-----																			
計測機器校正室	運転維持	-----																放射線管理用機器の保 守管理を含む。	S59年：運転開始 建設費：約5億円		
洗濯場	運転維持・洗濯	-----																S58年：使用開始 建設費：約0.3億円			

TRP：リスク低減の観点から、HAWを貯蔵する施設の安全対策及びHAWのガラス固化処理を最優先で可及的速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(6/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先	
		第3期					第4期														
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028							
ウラン廃棄物処理施設	焼却施設	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																S53年：運転開始 建設費：約1億円		
		高経年化対策																		
		新規制基準対応・耐震化対応																		
	UWSF	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物保管管理																S57年：運用開始 建設費：約5億円		
		高経年化対策																		
	第2UWSF	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理・廃棄物保管管理																H12年：運用開始 建設費：約26億円		
		高経年化対策																		
	Pu燃料第一開発室 (Pu-1)	運転維持																外部資金でJ-MOXへの技術協力を実施。 MA含有燃料に係る研究開発、照射試験試料製作、ODS鋼被覆管開発、MOX燃料製造技術開発、燃料製造機器試験室の核燃料物質受入対応を実施。	S41年：運転開始 建設費：約6億円	
		研究開発	J-MOXへの技術協力等																		
			MOX燃料製造技術開発、MA含有MOX燃料の研究開発、照射試験用燃料の製造、ODS鋼被覆管の溶接・検査技術開発、Pu-2からの核燃料物質受入等																		
			核燃料物質搬出(Pu-3)																		
		高経年化対策																		
新規制基準対応・耐震化対応																				
M棟	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																S52年：運転開始 建設費：約2億円			
	高経年化対策																			
高レベル放射性物質研究施設(CPF) (廃止措置予定)	運転維持																*1F廃炉に係る試験計画については、大熊分析・研究センターの運用及び1F廃炉作業の進捗状況に応じて、見直し等を行う。	S57年：運転開始 建設費：約115億円		
	研究開発	福島技術(廃棄物、燃料デブリの性状把握)に係る分析及び技術開発 再処理スラッジ評価、MA分離、弥生切粉を用いた再処理基礎、及び安全に係る試験研究 乾式再処理技術(電中研共研)、MA含有燃料の処理特性等に係る試験研究 ガラス固化体の長期拡散試験																			
	高経年化対策																			
	新規制基準対応・耐震化対応																			
	廃止措置	ニーズ動向等確認																			
		仮に廃止措置に着手する場合でも、長期を要することから耐震化を実施。 2021年度までにニーズ動向等を確認し廃止時期と集約先を判断。																			
Pu燃料第二開発室 (Pu-2) (廃止措置中)	運転維持																核燃料物質の貯蔵を検討中。 2024年度に設備撤去完了。	S47年：運転開始 H13年：運転終了 建設費：約12億円	H21年：核燃料物質使用変更許可	
	高経年化対策																			
	廃止措置	残材処理、核燃料物質の安定化処理、廃棄物の移設等 設備解体撤去 核燃料物質搬出(Pu-3)																			
J棟 (廃止措置予定)	運転維持																核燃料物質受入(第2U貯蔵庫) 廃油の処理(SR処理) 使用済遠心機処理、解体金属のクリアランス 核燃料物質の安定化処理	S48年：運転開始 建設費：約5億円		
	高経年化対策																			
	新規制基準対応・耐震化対応																			
	廃止措置	廃止措置計画策定・許認可、事前準備																			

別表2 原子力施設の中長期計画(7/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先		
		第3期					第4期															
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031				2032	2033
核サ研	東海地区 ウラン濃縮施設 第2U貯蔵庫 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																核燃料物質をJ棟に搬出後、廃止措置に移行予定。	S51年：運用開始 建設費：約1億円		
		高経年化対策	[Gantt chart: 2018-2028]																			
		新規制基準対応・耐震化対応 廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																竜巻対策。 2027年度に管理区域解除。			
		廃水処理室 (廃止措置予定)	[Gantt chart: 2018-2028]																2020年度に管理区域解除。	S51年：運転開始 建設費：約1億円	○	
		廃油保管庫 (廃止措置予定)	[Gantt chart: 2018-2028]																2028年度に管理区域解除。	S51年：運用開始 建設費：約0.1億円		
	L棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	S50年：開発開始 建設費：約7億円		
		高経年化対策	[Gantt chart: 2018-2028]																			
		廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																2029年度に管理区域解除。			
	B棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	S37年：試験開始 建設費：約0.6億円		
		高経年化対策	[Gantt chart: 2018-2028]																			
		廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																2027年度に管理区域解除。			
	Pu廃棄物貯蔵施設 (PW5F) (廃止措置中)	運転維持、廃棄物貯蔵	[Gantt chart: 2016-2028]																	S56年：運転開始 建設費：約6億円		
		廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																2020年度に管理区域解除。	H30年：核燃料物質使用変更許可		
	応用試験棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	S55年：運転開始 建設費：約8億円		
		研究開発	[Gantt chart: 2016-2028]																必要な試験機能は、J棟に集約。			
高経年化対策		[Gantt chart: 2018-2028]																				
居室移転		[Gantt chart: 2016-2028]																				
廃止措置		[Gantt chart: 2016-2028]																2028年度に管理区域解除。				
A棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	S33年：試験開始 建設費：約0.1億円			
	高経年化対策	[Gantt chart: 2018-2028]																				
	廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																2025年度に管理区域解除。				
燃料製造機器試験室 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	S48年：試験開始 建設費：約1億円			
	廃止措置	[Gantt chart: 2016-2028]																2021年度に管理区域解除。	H30年：核燃料物質使用変更許可	○		
地層処分放射化学研究施設 (QUALITY)	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																	H11年：試験開始 建設費：約72億円			
	研究開発	[Gantt chart: 2016-2028]																				
その他	運転維持	[Gantt chart: 2016-2028]																防災管理棟、正門警備所/車庫、田向門警備所、緊急自動車庫、自衛消防班待機所、保安管理・研修合同棟、保安管理付風機、モニタリングポスト、モニタリングステーション、部品試験室、濃縮第1倉庫、濃縮プレハブ倉庫(2)、工務技術管理棟、技術管理第2棟及び技術管理第3棟。				
	高経年化対策	[Gantt chart: 2018-2028]																				
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart: 2016-2028]																				

廃水処理室：既に解体準備に着手しており速やかに進める必要がある。
 燃料製造機器試験室：既に解体準備に着手しており速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(8/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先	
		第3期					第4期														
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028							
高温工学試験研究炉 (HTTR)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																安全性実証試験等の経費は運転維持に含む。	H10年：初臨界 建設費：約846億円	◎	
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including '接続試験等' and '安全性実証試験等']																運転再開時期は審査の動向を踏まえて見直す。			
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
常陽 (常陽等(廃棄物処理施設(JWTF)、メンテナンス建家を含む。))	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																核燃料物質搬出(搬出先検討中)	【常陽】 S52年：初臨界、性能試験開始 S58年：MK-II炉心初臨界 H15年：MK-III炉心初臨界 建設費(当初)：約289億円 【JWTF】 H7年：運転開始 建設費：約33億円	○	
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including '照射試験等']																運転再開時期は、審査の動向を踏まえて設定する。			
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
旧JWTF	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S52年：運転開始 H7年：運転終了 建設費：約4億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including '許可変更申請']																			
照射燃料集合体試験施設 (FMF)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																核燃料物質受入(AGF、MMF/MMF-2)	*1F廃炉に係る試験計画については、大熊分析・研究センターの運用及び1F廃炉作業の進捗状況に応じて、見直し等を行う。	S53年：運転開始 H11年：増設部運転開始 建設費(当初)約33億円 (増設)約190億円	
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including '1F放射性核種分析、燃料プリアクティビティ測定' and '照射試験等']																			
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
放射線管理棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	【放射線管理棟】 S46年：運転開始 建設費：約0.3億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing regulatory compliance and seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
環境監視棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	【環境監視棟】 S55年：運転開始 建設費：約1億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing regulatory compliance and seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
安全管理棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S45年：運転開始 建設費：約0.5億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing regulatory compliance and seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
照射装置組立検査施設 (IRAF)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S56年：使用開始 建設費：約6億円		
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including '照射試験等']																			
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
固体廃棄物前処理施設 (WDF)	運転維持、廃棄物処理	[Gantt chart showing maintenance and waste processing from 2016 to 2028]																	S59年：運転開始 建設費：約66億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing regulatory compliance and seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
重水臨界実験装置(DCA) (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S44年：初臨界 H13年：運転停止 建設費：約8億円	H18年：廃止措置計画認可	
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing regulatory compliance and seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
廃止措置	設備解体撤去	[Gantt chart showing equipment dismantling from 2016 to 2028]																核燃料物質搬出完了まで長期を要することから耐震補強工事を実施。	2028年度以降に管理区域解除。		
	使用済燃料搬出(米国)	[Gantt chart showing spent fuel export from 2016 to 2028]																			
	核燃料物質搬出(搬出先検討中)	[Gantt chart showing fuel removal from 2016 to 2028]																			
材料試験炉(JMTR) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S43年：初臨界 建設費：約75億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
	耐震化対応	[Gantt chart showing seismic upgrades from 2016 to 2028]																			
廃止措置	未使用燃料要素搬出(搬出先検討中)	[Gantt chart showing unused fuel element removal from 2016 to 2028]																	廃止措置は2028年度から本格着手。		
	使用済燃料搬出(米国)	[Gantt chart showing spent fuel export from 2016 to 2028]																			
	制御設備起動装置撤去、高線量照射試料、設備等の解体・搬出	[Gantt chart showing control equipment and irradiation material removal from 2016 to 2028]																			
JMTRホットラボ (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S46年：運転開始 建設費：約4億円		
	研究開発	[Gantt chart showing R&D from 2016 to 2028, including 'Mo国産化技術の確立等' and '軽水炉照射材料健全性評価研究(規制庁委託事業)']																			
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																			
耐震化対応	[Gantt chart showing seismic upgrades from 2016 to 2028]																	JMTRの廃止措置のため長期間活用することから耐震化を実施。			
	廃止措置	[Gantt chart showing dismantling from 2016 to 2028, including 'RIの搬出に向けた事前準備作業' and '核燃料物質の搬出に向けた事前準備']																			
	RIの搬出	[Gantt chart showing RI removal from 2016 to 2028]																			

HTTR：安全性実証試験をOECD/NEAとの国際協力により実施し、参加国により令和4年3月までに報告書を纏めるため炉を運転しデータを取得する必要がある。

常陽：我が国の高速炉開発の方針とその戦略ロードマップに基づき、再稼働に向けて積極的に取り組むとともに、国際競争力等の観点から維持すべき研究開発基盤として利活用していく必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(9/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先
		第3期					第4期													
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028						
照射燃料試験施設(AGF) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																各試験は、2025年度以降、試験機能を移管したFMFで実施。 *1F廃炉に係る試験計画については、大熊分析・研究センターの運用及び1F廃炉作業の進捗状況に応じて、見直し等を行う。	S46年：運転開始 S55年：運転開始 建設費：(当初)約8億円 (増設)約16億円	
	研究開発	1F対応に係る取組(線量計測・計量管理、燃料デブリ取除、核種挙動評価) 照射済MA含有MOX燃料等のPIE(Am-1長期照射試験、MA含有Pu-MOX燃棒の系統的試験、小規模MAサイクル試験等) 「常陽」照射燃料作製 多様な原子力施設のソースターム評価手法高度化																		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		
	廃止措置	核燃料物質の安定化、核燃料物質搬出(FMF) 設備撤去、廃棄物払出等																		
燃料研究棟 (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																S52年：運転開始 建設費：約1.8億円		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		
	廃止措置	核燃料物質の安定化、搬出(搬出先検討中)等 108号室GB解体・撤去、解体設計、許認可 GB内蔵機器撤去 GB及び付帯設備除染・解体撤去 廃棄物搬出																		2032年度に管理区域解除。
・照射材料試験施設(MMF) (廃止措置予定) ・第2照射材料試験施設(MMF-2) (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																高破損耐性被覆管等の材料特性評価試験、高破損耐性被覆管等の材料照射試験・PIEについては、2025年度以降、試験機能を移管したFMFで実施。	【MMF】 S48年：RI使用による運転開始 S50年：核燃使用による運転開始 建設費：約8億円 【MMF-2】 S59年：運転開始 建設費：約20億円	
	研究開発	1F向けCs化学吸着挙動評価のための試験技術開発 高破損耐性被覆管等の材料特性評価試験(伊外試験) 高破損耐性被覆管等の材料照射試験・PIE(MARCO-2、EMIR-7等)																		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		
	廃止措置	核燃料物質等の整理(MMF/MMF-2) 核燃料物質搬出(FMF) FMFの機能整備 MMFの設備撤去、廃棄物搬出等 MMF-2の核燃使用施設機能の停止(設備撤去、廃棄物搬出等) MMF-2のRI貯蔵能力変更許認可 ▼MMF/AGFからRI搬入																		
Na分析室 (廃止措置予定)	運転維持	常陽等の分析業務																S48年：RI使用による運転開始 S49年：核燃使用による運転開始 建設費：約2億円		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		
	廃止措置	分析機能のIRFへの移転 RI・核燃料物質搬出(搬出先検討中) 設備解体撤去等																		2028年度に管理区域解除。
燃料溶解試験試料保管室(NUSF) (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																S54年：運転開始 S58年：試験終了 建設費：約4億円 H25年：核燃料物質使用変更許可		
	廃止措置	廃棄物搬出 Na処理等 核燃料物質搬出(搬出先検討中)																		2027年度に管理区域解除。
廃棄物管理施設	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																S44年～：運転開始 建設費：約135億円 【処理方法】 封入(圧縮)、蒸発、固化、焼却 OWTF：2022年度から処理運転開始予定	○	
	高経年化対策	ドラム缶の健全性対策																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		
【参考】 廃棄物分別		分別																2028年までに2,000本以上の分別を実施		
その他	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																核物質防護設備、放射線管理設備、管理支援棟、浄水場、南変電所、北変電所。		
	高経年化対策	[Gantt chart showing aging countermeasures from 2016 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2016 to 2028]																		

廃棄物管理施設：他施設から発生する維持管理のための廃棄物については、安全確保上必要なため受入れ・処理をしているが、今後大洗研究所内の原子炉の運転に伴い発生する廃棄物については新規制基準に適合しなければ受入れることができない。

別表2 原子力施設の中長期計画(10/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先
		第3期					第4期													
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028						
青森	大湊施設研究棟	運転維持	AMS運転を含む。																S47年：使用開始 建設費：約14億円	
	高経年化対策	廃棄物パッケージの内部点検																		
	耐震化対応																			
	関係施設(むつ) (廃止措置中)	運転維持																	S63年：使用開始 建設費：約65億円	
	高経年化対策	廃棄物パッケージの内部点検																	H18年：廃止措置計画認可	
	廃止措置	前処理準備	廃棄物の前処理作業					解体工事準備						廃止措置は2028年度以降から本格着手。						
【参考】 廃棄物分別		分別																2028年までに100本以上の分別を実施		
もんじゅ (廃止措置中)	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																段階的に廃止措置における合理的な保守管理へ移行。	H4年：性能試験開始 H6年：臨界 H22年：炉心確認試験 建設費：約5,860億円	◎
	廃止措置	燃料取り出し等	Na機器の解体準備 水・蒸気系等発電設備の解体等																燃料取り出しは、廃止措置に関する基本的な計画策定から5年半での完了を目指す。	
敦賀	ふげん	運転維持・廃棄物処理	維持・廃棄物処理																S54年：本格運転開始 H15年：運転終了 建設費：約685億円	◎
	重水精製建屋 (廃止措置中)	高経年化対策	貯蔵庫に貯蔵保管中の廃棄物容器内部点検																	
	廃止措置	使用済燃料搬出準備	使用済燃料搬出					重水搬出・トリウム除去工事 原子炉周辺設備の解体撤去 タービン設備等解体撤去						使用済燃料の搬出を含む。	【処理方法】 焼却、仕分・分別処理、アスファルト固化(セメント固化に更新予定)					
	【参考】 廃棄物分別		分別																2028年までに14,000本以上の分別を実施	

もんじゅ：リスクの低減の観点から、原子炉からの燃料取り出しを速やかに進める必要がある。引き続き解体に向けた準備を進める必要がある。

ふげん：廃止措置を引き続き着実に継続するため、使用済燃料搬出の準備を速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(11/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先
		第3期					第4期													
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028						
開発試験棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																放射性液体廃棄物等の処理技術に係る試験・分析、センター内各施設の放射線管理のための放射能測定、解体物収納コンテナの内容物等調査、廃水ヒット建屋での放射性液体廃棄物(廃液)の処理、放射性固体廃棄物の貯蔵、廃棄物ドラム缶検査建屋及び非破壊検査建屋での放射性固体廃棄物ドラム缶中のU量測定を含む。	S51年：使用開始 建設費：約2億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
解体物管理施設(旧製錬所)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																解体物収納コンテナ中の放射能を非破壊測定、解体物収納コンテナの内容物等調査の実施を含む。	H10年：使用開始 建設費：約1.3億円	
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
濃縮工学施設 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S54年：運転開始 H9年：運転終了 建設費：約598億円	
	研究開発	[Gantt chart showing R&D activities: 廃棄物インベントリー調査, 処理技術基礎研究, 工学試験(金属、難固体、スラッジ)]																	H25年：核燃料物質使用変更許可	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
	廃止措置	[Gantt chart showing decommissioning: 主要設備解体, パイロットプラント遠心機処理, 六フッ化ウラン対策検討, 設計, 環境整備, 整備]																六フッ化ウラン対策は、濃縮工学施設あるいはウラン濃縮原型プラントのいずれで実施するか検討中。		
	廃止措置	[Gantt chart showing decommissioning: 排気ダクトの一部撤去・閉止措置, 給排気停止・廃液処理設備解体]																		
製錬転換施設 (廃止措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S57年：運転開始 H11年：運転終了 建設費：約48億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
	廃止措置	[Gantt chart showing decommissioning: 排気ダクトの一部撤去・閉止措置, 給排気停止・廃液処理設備解体]																	H19年：核燃料物質使用変更許可	
ウラン濃縮原型プラント (廃止措置予定)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S63年：運転開始 H13年：運転終了 建設費：約546億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	廃止措置	[Gantt chart showing decommissioning: DOP-1系統除染, 六フッ化ウラン対策検討, 主要設備解体、遠心機処理等]																六フッ化ウラン対策は、濃縮工学施設あるいはウラン濃縮原型プラントのいずれで実施するか検討中。	H30年：廃止措置計画認可申請	○
総合管理棟・校正室	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																環境分析、測定機器校正を含む。	S54年：使用開始 建設費：約4億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
共通施設棟	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																商用電源、非常用電源の供給、熱水の供給を含む。	S53年：使用開始 建設費：約24億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																		
廃棄物処理施設	運転維持・廃棄物処理	[Gantt chart showing maintenance and waste treatment from 2016 to 2028]																維持・廃棄物処理	S58年：運転開始 建設費：約4億円	
	高経年化対策	[Gantt chart showing high aging countermeasures from 2019 to 2028]																		
	新規制基準対応・耐震化対応	[Gantt chart showing new standards and seismicity countermeasures from 2017 to 2021]																	【処理方法】 焼却	

ウラン濃縮原型プラント：六フッ化ウラン対策等を速やかに進める必要がある。

別表2 原子力施設の中長期計画(12/12)

施設	項目	事業展開																備考	【参考】施設情報 (建設費は建設当時の額)	優先	
		第3期					第4期														
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028							
東濃	土岐地球年代学研究所	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																地質環境の長期安定性に関する研究に使用する分析装置の維持管理等。	S53年：運用開始 建設費：約4億円	
	研究開発	地層科学研究のうちの地質環境の長期安定性に関する研究																			
	高経年化対策	[Gantt chart showing countermeasures from 2018 to 2028]																			
新規施設	核サ研)TWTF-1(α系統合焼却炉)	[Gantt chart showing design, permit, and construction from 2017 to 2028]																			
	核サ研)特高変電所	[Gantt chart showing design and construction from 2017 to 2024]																			
	核サ研)新緊急時対策所	[Gantt chart showing design, permit, and construction from 2017 to 2022]																			
	核サ研)環境監視棟	[Gantt chart showing design, permit, and construction from 2017 to 2022]																			
	大洗)OWTF	[Gantt chart showing construction, work, trial operation, and transport from 2016 to 2028]																			
	大洗)南受電所	[Gantt chart showing construction from 2019 to 2022]																			
	大洗)核燃料物質集約施設	[Gantt chart showing design, construction, and nuclear fuel material intake/storage from 2017 to 2028]																既存施設の活用(改築)を第1候補として、未照射燃料等の集約施設を整備。			
	大熊)分析・研究センター	[Gantt chart showing construction from 2017 to 2022]																			
【参考】 人形峠鉱山 (閉山措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S33年：事業開始 H12年：事業休止 現在維持管理中		
	高経年化対策	[Gantt chart showing countermeasures from 2016 to 2028]																			
	安全対策、閉山措置	地盤崩壊現場の復旧・対策、土砂災害防止法に基づく対策 坑廃水処理設備、捨石たい積場えん堤、沈砂池等の高経年化・耐震化対策 捨石たい積場の地盤安定/覆土(東郷鉱山を含む) 坑廃水処理対策、坑水発生源対策 鉱さいたい積場覆土措置に係る地下水流入抑制、廃砂たい積場で補修調査・研究 鉱業廃棄物埋立場立地に係る調査・検討																耐震補強工事(豪雨対策を含む)を実施			
【参考】 東濃鉱山 (閉山措置中)	運転維持	[Gantt chart showing maintenance from 2016 to 2028]																	S47年：事業開始 H16年：事業休止 H22年：閉山措置開始		
	核原料物質の措置	[Gantt chart showing investigation/preparation and measures from 2019 to 2022]																			